

【期 日】 平成22年8月9日(月)～10日(火)  
 【会 場】 タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)

〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1 都営地下鉄新宿線船堀駅下車徒歩1分

主 催 日本肢体不自由教育研究会 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
 日本肢体不自由児協会 日本障害者リハビリテーション協会

後 援 文部科学省、東京都教育委員会、国立特別支援教育総合研究所、全国連合小学校長会、  
 全日本中学校長会、全国特別支援学級設置学校長協会、全国特別支援教育推進連盟、  
 全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会、全国肢体不自由児・者父母の会連合会

今日、特別支援教育は、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う、質の高い教育の実現を目指して動いています。本研究大会では、これまで培ってきた肢体不自由教育の基本的視点を大切にしつつ、今後の新たな方向性を探るために、基調講演と各セミナーを用意しました。お互いに学び合い高め合う機会となることを期待し、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 日 程

	9:15	10:00	10:45	12:00	13:30		17:30	18:00	19:30
8月9日 (月)	受付	開会式	基調講演 (一般公開)	昼食	セミナーA	移動	フリー トーク・ サロン		

- ・開会式、金賞・奨励賞授賞式、受賞者による発表
- ・基調講演 「障害力を信じようー特別支援教育に期待することー」  
 講師：関根 千佳(株)ユーディット(情報のユニバーサルデザイン研究所)代表取締役  
 「生きる力」を育む教育をいっそう充実させること、とりわけ特別支援教育においては自立と社会参加に向けた教育の推進が求められています。さまざまな人々が共に生きるユニバーサルデザインを開発・普及している視点から、特別支援教育に期待することについて講演をいただきます。
- ・セミナーA  
 1：コミュニケーション指導の理論と実践 2：自立活動の指導  
 3：授業を豊かにする教材・教具の活用
- ・フリートーク・サロン(18:00～19:30)：参加者が肢体不自由教育に関する情報、意見を交換できる場を設けます。

	9:30	12:00	13:30	16:00
8月10日 (火)	セミナーB	昼食	セミナーB	

- ・セミナーB  
 1：医療的配慮が必要な子供の健康づくり 2：障害の重い子供への摂食指導  
 3：動作法の理論と実技 4：教科への入門期の指導

【参加費】 日本肢体不自由教育研究会会員の方は、10,000円。非会員の方は、12,000円。

【定 員】 250名・申込み先着順。ただし、セミナーごとに別途定員を定めますので、早めにお申込みください。

【受付期間】 平成22年5月17日(月)～7月12日(月) 受付期間中でも定員に達し次第、締切りますのでご注意ください。  
 申込み方法は、裏面の「申込みの注意事項」をご覧ください。

【申込み・問い合わせ先】 日本肢体不自由教育研究会 電話・FAX 03-3530-2453  
 メール BDS01411@nifty.com

※受講希望のセミナーを、1日目はセミナーA、2日目はセミナーBからそれぞれ一つずつお選びください。

セミナーAでは、特別支援教育における肢体不自由教育の専門性を学ぶ内容を設けました。今日的課題と展望、実践と理論の構築等に迫ります。

## A1 コミュニケーション指導の理論と実践

コミュニケーション指導にあたっては、その基本となる発達評価が重要です。本セミナーでは、表出が読み取りにくい子供のコミュニケーションの評価と指導を中心に、講義と実践報告を通じて学びます。

会場：5階  
小ホール  
定員：110名

### 「肢体不自由児のコミュニケーション支援」

講師：知念 洋美（千葉県千葉リハビリテーションセンターリハビリテーション療法部言語聴覚科）

### 「やりとりの力を育む－専門家連携の試み－」

講師：東 敦子（社会福祉法人のゆり会のぞみ発達クリニック所長）

実践報告：外山世志之（東京都立光明特別支援学校主任教諭）

## A2 自立活動の指導

個別の指導計画に基づき、自立活動の時間の指導と各教科等との関連を踏まえた考え方、実態把握からの目標設定や指導内容の工夫等について、講義と実践報告を通じて学びます。

会場：2階瑞雲  
定員：70名

### 「障害の重い子供の自立活動の指導－指導計画の作成と授業展開－」

講師：長沼 俊夫（国立特別支援教育総合研究所総括研究員）

実践報告：鶴 宣彦（長崎県立長崎特別支援学校教諭）

片桐 博（千葉県立桜が丘特別支援学校教諭）

## A3 授業を豊かにする教材・教具の活用

教材・教具の作製・活用にあたっては、児童生徒の実態把握をもとに、適切な課題の設定とその後の評価も重要になってきます。本セミナーでは、数多くの実践を重ねてきた方の講義と実践報告を通じて、明日の授業に役立てられるような内容を学びます。

会場：2階平安  
定員：70名

### 「子供の上肢機能を最大限に発揮する工夫」

講師：鴨下 賢一（静岡県立こども病院作業療法士）

実践報告：野上智寿子（千葉県立桜が丘特別支援学校教諭）

### 【申込みの注意事項】

- 本会会員の方は、必ず「肢体不自由教育」誌第195号綴り込みの振替払込書（会員用）を使用し、通信欄の参加申込書に記載の上、参加費をお払込みください。参加費の払込みをもって申込みの受付とします。お払込みいただいた参加費は、当日不参加の場合でもお返しできませんので、ご注意ください。なお、払込受領証をもって領収書に代えます。
- 会員以外の方は、振替払込書（研究大会参加申込書・一般用）又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口備え付けの振替払込書を使用してください。この場合は、非会員として受付、参加費の割引はいたしません。
- A・B両セミナーについて、それぞれ第1希望・第2希望を必ずご記入ください。第1希望のセミナーが定員に達した場合は、第2希望のセミナーに参加として受理させていただきます。
- 1日だけの参加については、お受けできません。
- 参加票は、申込み受付順にお送りします。参加票を、当日必ずご持参ください。
- 昼食は、各自ご用意ください。

セミナーBでは、演習・実技・研究協議を中心に構成し、指導実践に即した内容を設けました。

## B1

### 医療的配慮が必要な子供の健康づくり

障害の重い子供の健康を守るためには、医学的治療や医療的ケアだけでなく、日常的なかかわりや介助の仕方も重要です。講義では主に呼吸等についての理解を深め、実践報告では取組の紹介等を行います。

会場：5階  
小ホール  
定員：100名

#### 「障害の重い子供の健康－呼吸障害を中心に－」

講師：北住 映二（心身障害児総合医療療育センターむらさき愛育園長）

実践報告：下川 和洋（東京都立八王子東特別支援学校教諭）

※本セミナーの昼食時間は13:00～14:30となります。

## B2

### 障害の重い子供への摂食指導

発達学的な視点にたつて、なぜ子供たちがそのような食べ方をするのか、その要因を考えながら「摂食嚥下機能の発達段階」について講義と実習を通じて学びます。

会場：2階瑞雲  
定員：50名

#### 「障害の重い子供たちにおける摂食嚥下障害へのアプローチ－発達学的な視点に基づいて－」

講師：芳賀 定（芳賀デンタルクリニック院長）

※実習で使用する平スプーン及び口当たりやさしいスプーン（レギュラー）は会場で販売いたします。既にお持ちの方はご持参ください。また、実習費として、当日250円を徴収いたします。

## B3

### 動作法の理論と実技

動作法に関して初心者や経験の浅い方を対象にしたセミナーです。課題設定や実技、自立活動の指導なども含め、動作法の基本的な考え方や技法について学びます。

会場：2階平安  
定員：50名

#### 「動作法の理論と展開」

講師：宮崎 昭（山形大学地域教育文化学部教授）

#### 「自立活動の指導に活かす動作法」

講師：渡邊 涼（東京都立北特別支援学校主任教諭）

実技指導：篠原 弥生（埼玉県立三郷特別支援学校草加分校教諭）

鈴木 芳宏（動作法おおみや／元埼玉県立和光養護学校教諭）

寺本 光儀（東京都立久留米特別支援学校主任教諭）

綿引 朝香（千葉県立楨の実特別支援学校教諭）

※実技指導がありますので動きやすい服装をご用意ください。

## B4

### 教科への入門期の指導

教科への入門期の指導について、文字に関する指導内容を中心に、入門期の指導における系統性や留意点などを、講義と演習、実践報告を通じて学びます。

会場：4階  
研修室  
定員：50名

#### 「肢体不自由児に対する入門期の指導－初期の発達段階での学習から文字の入門期の指導まで－」

講師：川間健之介（筑波大学大学院教授）

実践報告：齋藤 香純（福島県立平養護学校教諭）

## 会場への交通

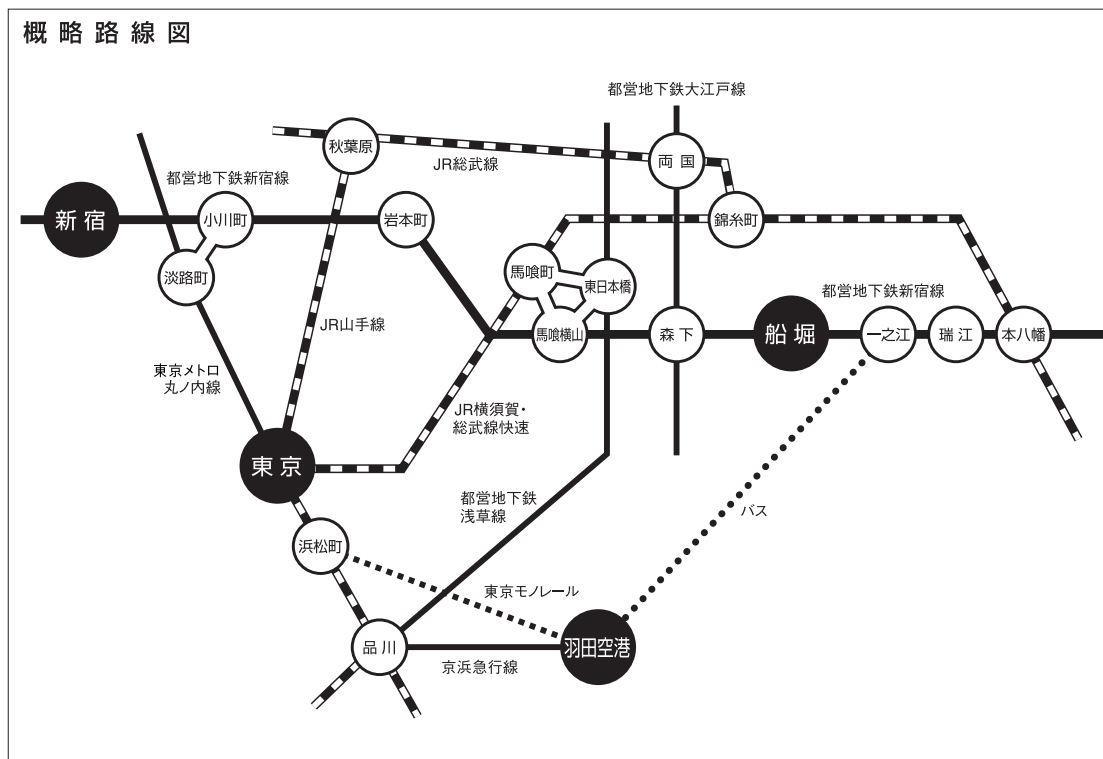
東京駅から(所要時間は約30分です。)

- 東京駅→(横須賀・総武線快速)→馬喰町駅→(乗換)→馬喰横山駅→(都営地下鉄新宿線)→船堀駅
- 東京駅→(東京メトロ丸ノ内線)→淡路町駅→(乗換)→小川町駅→(都営地下鉄新宿線)→船堀駅
- 東京駅→(JR山手線)→秋葉原駅→(徒歩)→岩本町駅→(都営地下鉄新宿線)→船堀駅

羽田空港から(所要時間は60分～80分です。空港→一之江駅間のバスの所要時間は45～55分です。)

- 羽田空港駅→(京浜急行線・都営地下鉄浅草線直通)→東日本橋駅→(乗換)→馬喰横山駅→(都営地下鉄新宿線)→船堀駅
  - 羽田空港→(京成電鉄バス、東京空港交通バス)→一之江駅→(都営地下鉄新宿線)→船堀駅
- ★バスは、1時間当たり1～2回程度の運行ですので、ご注意ください。

新宿駅から、都営地下鉄新宿線で乗換えることなく、直通です。(急行で21分、普通で30分です。)



\*所要時間は、あくまでも目安ですので、ご利用の際は各自でご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

\*会場は、都営地下鉄新宿線船堀駅下車徒歩1分。駅改札口を出て右折すると正面にあります。

\*大会受付は、5階大ホール入口で行います。

## その他

- 大会会場へのお車でのご来場は、ご遠慮ください。
- 講師等の都合によって、一部変更する場合がありますことをご了承ください。
- 日本肢体不自由教育研究会のホームページに、関連情報を掲載しておりますのでご覧ください。

# 記入例

\* 肢体不自由教育研究会（「肢体不自由教育」購読者）の方は、  
195号綴り込みの会員専用の申込用紙をご利用下さい。

窓口備え付けの用紙に下記の例を参考に記載してください。

ご希望のセミナー番号を記入してください。

00	東京	払 込 取 扱 票																		
口 座 記 号 番 号										金	千	百	十	万	千	百	十	円		
0	0	1	6	0	9	1	1	6	3	7	9	※			1	2	0	0	0	
加入者名	特定非営利活動法人 日本肢体不自由教育研究会										料	備								
通	第34回日本肢体不自由教育研究大会参加申込書（一般用）										金	考								
信	フリガナ 研究 太郎										○希望セミナー		8/9・第1希望 (A 1) ・第2希望 (A 2)							
欄	氏 名 研究 太郎										8/10・第1希望 (B 1) ・第2希望 (B 2)									
	勤務先名 日本肢体不自由教育研究会																			
	○下記に参加票の送付先を記入のこと																			
ご依頼人	おところ (郵便番号 173-0037 ) 東京都板橋区小茂根1-1-7										日	附								
	おなまえ 研究 太郎										附	印								
	(電話番号 03 - 3530 - 2453 )																			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第39828号)																				
これより下部には何も記入しないでください。																				

## 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 1 6 0 9									
加入者名	特定非営利活動法人 日本肢体不自由教育研究会									
金額	千	百	十	万	千	百	十	円		
				1	2	0	0	0		
ご依頼人	おなまえ 研究 太郎 様									
料金	消費税込み) 日 附 印									
備考	円									

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。  
切り取らないで出してください。

この受領証は、大切に保管してください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。